

# 宮城県石巻市

## 【目指す中心市街地の都市像】

### 中心市街地活性化基本計画概要

【第4期計画：令和7年4月～令和12年3月】

街なかの魅力を活かしさまざまなチャレンジが生まれ、安心して楽しく回遊できるまち

【自治体の概要】 人口：133,724人(R6.3.31・住民基本台帳)、面積554.55km<sup>2</sup>

・宮城県北東部に位置する県下第2の都市。市街地は旧北上川河口部に広がっており、中心市街地は旧北上川の右岸に位置する。平成17年に1市6町が合併。東日本大震災により甚大な被害を受け、中心市街地も旧北上川からの津波被害を受ける。復旧・復興期間を概ね10年と定め復興まちづくりを推進した。平成7年から「マンガを活かしたまちづくり」を実施。豊富な食、雄大な川、マンガを3本柱とし中心市街地の活性化を図っている。

歴史・文化・川湊といった石巻の中心市街地にしかない魅力を活かし、市民や観光客の目的地となる店舗や居場所を増やすことで、多くの賑わいが生まれ、街なかならではの魅力が感じられ、誰にとっても居心地がよい歩きたくなる楽しいまちを目指します。

### 【中心市街地活性化の課題と解決に向けた取組】

・空き店舗や低未利用土地(遊休不動産)が多く残っているもしくは増加している

・新規創業や事業承継支援の充実化、遊休不動産の流動化を促進し活用を図る

・川沿いエリアの賑わいが中心市街地全体へ波及しておらず、回遊につながない

・街なかの魅力(食、マンガ、個店等)を更に磨きあげ、情報発信の強化を図る

・市民の街なかへの来訪頻度が低下しており、市民の日常づかいにつながない

・市民が中心となった利活用しやすい環境づくり、アクセシビリティ向上を図る

### 【中心市街地活性化の方針】

#### 【経済活力の向上】まちへの関わりしるを増やし、チャレンジが生まれるまち

目的(地)が増えることにより人が集い、街なかの魅力が向上し、それが更なる呼び込みとなる好循環を作っていく

→目標：訪れたいと思う目的地の増加

【新規出店数】 全17事業

#### 【賑わいの創出】多世代が安心して集えるまち

施設利用者が増えることにより、公共的スペースを核に市民がそれぞれの居場所やつながりを作っていく

→目標：誰にとっても居場所があり交流できる機会の増進

【市民交流8施設の利用者数】 全22事業

#### 【ウォークブルの推進】市民の力・地域資源を活かした歩きたくなるまち

市民に愛され、市民自身が愛着(シビックプライド)を持てる場をつくっていく

→目標：中心市街地の回遊性の向上

【歩行者・自転車通行量】 全36事業

### 【前期計画目標と数値】

目標	目標指標	基準値	目標値(R6)	最新値(R5)
定住人口の増加	中心市街地における社会増減数	-58人(H29~H30平均)	+19人(R2~R6平均)	+3人(R2~R5平均)
交流人口の増加	2施設(石ノ森萬画館・いしのまき元気いちば)の利用者数	1,369,912人(H30)	1,469,603人	1,576,973人
	歩行者・自転車通行量(12地点)	17,790人(H30)	19,748人	11,007人
市民活動参加者数の増加	市民交流施設4施設の利用者数	153,429人(H30)	182,315人	220,937人

### 【計画目標と数値】

目標	目標指標	基準値	推計値	目標値
訪れたいと思う目的地の増加	新規出店数	新規設定	20店舗	30店舗
誰にとっても居場所があり交流できる機会の増進	市民交流8施設の利用者数	306,154人	323,000人	373,000人
中心市街地の回遊性の向上	歩行者・自転車通行量(18地点)	23,837人	24,700人	27,000人

# 石巻市中心市街地活性化基本計画の事業概要

## (1) まちへの関わりしろを増やし、チャレンジが生まれるまち

### 【主要な事業】

- ①空き地・空き店舗活用助成金事業
- ②空き家・空き店舗リノベーション事業
- ③創業支援事業
- ④街なか創業・事業承継支援事業
- ⑤街なか出店サポート事業
- ⑥マンガクリエイター支援事業
- ⑦文化通り再生事業
- ⑧街なかフィールドワーク等連携事業

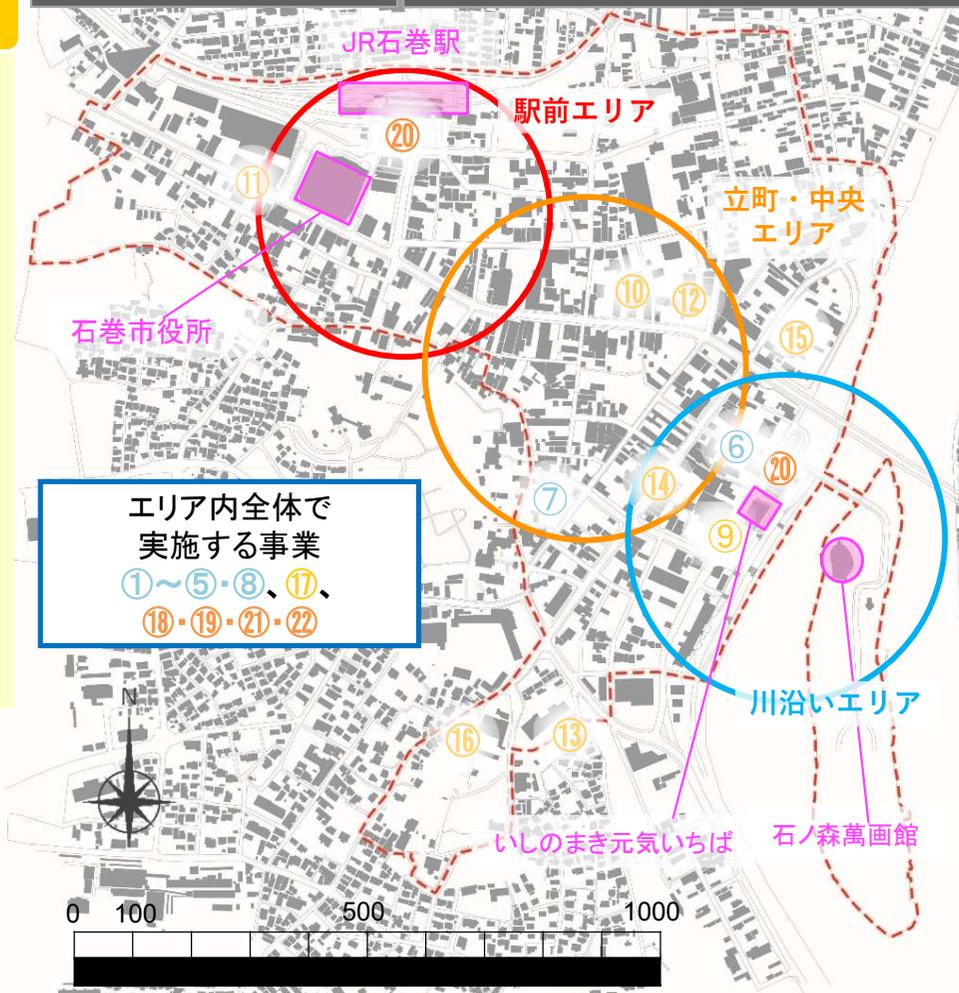
川沿いエリアの賑わいを中心市街地全体へ波及させるためには、市民にとっても、国内外からの来訪者にとっても、訪れたいと思う「目的地」づくり、「居心地の良い場所」づくり、「歩きたくなる仕掛け」づくりによって回遊性を向上させる必要がある。そのため、(1)「目的地」づくりについては、中心市街地における課題である「遊休不動産の活用」を促す事業を展開し、新規出店数の増加を目指す。(2)「居心地の良い場所」づくりについては、市民交流施設の利用促進等によって多世代が安心して集える場の増加を目指す。(3)「歩きたくなる仕掛け」づくりについては、市民・事業者による地域の魅力発信、磨き上げによって、まちなかだからこそ享受できる豊かさを見出す機会や場の運営により来訪者の増加を目指す。これらの施策により街なかの回遊性が向上し、それによって新たな投資や賑わいへとつながる好循環を生み出す。

## (2) 多世代が安心して集えるまち

### 【主要な事業】

- ⑨石巻市かわまち交流拠点施設管理運営事業
- ⑩石巻市子どもセンター事業
- ⑪ささえあいセンター活用事業
- ⑫石巻健康センター あいプラザ・石巻活用事業
- ⑬老人福祉センター寿楽荘活用事業
- ⑭まちなかコミュニティホール活用事業
- ⑮旧観慶丸商店保存活用事業
- ⑯石巻中央公民館管理運営事業
- ⑰街なか居場所づくり事業

中心市街地面積：約56.4ha 中心市街地人口：2,723人(R6.3.31)



エリア内全体で実施する事業  
①～⑤・⑧、⑰、⑱・⑲・⑳・㉑

## (3) 市民の力・地域資源を活かした歩きたくなるまち

### 【主要な事業】

- ⑱石巻マンガロード整備活用・発信事業
- ⑲街なかイベント開催助成金事業
- ⑳デジタルサイネージ管理・運用事業
- ㉑石巻かわまちエリアプラットフォーム取組推進事業
- ㉒街なかアクセス向上事業

石巻市かわまち交流拠点施設管理運営事業



街なか居場所づくり事業



中瀬公園利活用検討推進事業



石巻かわまちエリアプラットフォーム取組推進事業



街なか出店サポート事業



文化通り再生事業

